

International Information Exchanges and Research Networks in Relation to Environmental Process Studies in East Asia : Department of Environmental Information

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/37009

東アジアにおける研究拠点の形成 —国際的情報発信と研究ネットワーク— —環境情報領域—

柏谷健二^{1*}

2013年11月28日受理, Accepted 28 November 2013

International Information Exchanges and Research Networks in Relation to Environmental Process Studies in East Asia —Department of Environmental Information—

Kenji KASHIWAYA^{1*}

Abstract

Since its establishment, the Department of Environmental Information has promoted international information exchanges and research networks in relation to environmental process studies in East Asia through various international activities.

Key Words: Department of Environmental Information, East Asia, research network
キーワード: 環境情報領域, 東アジア, 研究ネットワーク

環日本海域環境研究センター発足以来, 東アジアにおける研究拠点の形成と国際的情報発信, そして研究ネットワークの形成がその中心課題の一つであったが, その試みは2002年から2007年にかけて実施された文部科学省21世紀COEプログラム「環日本海域の環境計測と長期・短期変動予測」を背景に進められた。このような環境計測・環境変動研究の拡がりには国際共同研究の展開や国際会議の開催, 研究生の交換等を通して, 国際環境研究ネットワークの形成に繋がり, 環境情報分野の設立を促し, 東アジアの環境変動研究の拠点としての役割を果たすようになってきている。以下, 情報発信と国際研究ネットワークに関わるいくつかの事業を紹介する。なお,

本領域にかかる国際会議や国際シンポジウムなどについては柏谷・山本(2014:本誌, 7-9)を参照されたい。

2003年7月2日: ロシア科学アカデミーシベリア支部 陸水学研究所と学生・若手研究者のための共同野外実習に関する協定を締結。

2003年8月2~9日: 第1回COEバイカル・サマースクールの開催(ロシア・イルクーツク, バイカル湖)。

2004年8月21~28日: 第2回COEバイカル・サマースクールの開催(ロシア・イルクーツク, バイカル湖)。

¹ 金沢大学環日本海域環境研究センター 環境情報領域 前領域長 〒920-1192 石川県金沢市角間町 (Former Head, Department of Environmental Information, Institute of Nature and Environmental Technology, Kanazawa University, Kakuma-machi, Kanazawa, 920-1192 Japan)

* 連絡著者 (Author for correspondence)

- 2004年11月25日：「日本海の流れと海洋環境」に関する懇談会の開催（COE陸域環境変動領域との共催）。
- 2004年12月15日：ワークショップ「環日本海環境変動と陸水・雪氷圏」の開催。
- 2005年2月16日：日本海セミナー「閉鎖水域の環境－日本海と琵琶湖」の開催。
- 2005年3月1日：環境情報分野（自然環境情報部門・人間環境情報部門）発足。
- 2005年6月6日：環日本海域環境情報のデータベース構築に関するワークショップの開催。
- 2005年8月6～13日：第3回COEバイカル・サマースクールの開催（ロシア・イルクーツク）。
- 2005年10月17日：韓国地質資源研究院（KIGAM）と大学間交流協定を締結。
- 2005年12月19日：韓国慶熙大学校理科大学と部局間交流協定を締結。
- 2006年2月16日：特別講演会「水圏・水域の環境に関する諸問題」の開催。
- 2006年6月1日：ユーラシア東部・環日本海域セミナー「東アジア黄砂伝播域（日中韓）の地表環境に関する共同研究の展望」の開催。
- 2006年8月5～12日：第4回COEバイカル・サマースクールの開催（ロシア・イルクーツク）。
- 2007年1月31日：中国延辺大学との大学間交流協定を締結。
- 2007年3月16日：モンゴル科学アカデミー地質鉱物資源研究所と部局間交流協定を締結。
- 2007年6月7日：環日本海環境会議「海洋基本法と環日本海域の環境研究」の開催。
- 2007年8月2～10日：第5回COEバイカル・サマースクールの開催（ロシア・イルクーツク）。
- 2007年12月20日：環日本海環境会議「満鉄調査部関係の諸史料」の開催。
- 2008年1月23日：環日本海環境会議「韓国地質資源研究院における環境研究・防災研究」の開催。
- 2008年3月10日：韓国地質資源研究院日本分室（国際共同研究室）（当センター内）を設置。
- 2008年11月28～29日：学術講演会「陸水物理研究会第30回大会」の開催（陸水物理研究会との共催）。
- 2009年2月10日：ユーラシア東部・環日本海域環境セミナー「東アジアにおける資源・環境政策と地球環境」の開催。
- 2009年8月2日：ロシア科学アカデミーシベリア支部地質鉱物資源研究所と共同研究（2010～2012）に関する協定を締結。
- 2010年12月1日：学術講演会「台湾のジオパーク」の開催。
- 2011年1月19日：学術講演会「韓国における歴史時代の環境変動」の開催。
- 2011年5月10日：台湾・国立台湾大学と大学間交流協定を締結。
- 2012年1月12日：ユーラシア東部/環日本海域・国際環境セミナー「台湾と北越地域におけるジオパークネットワークの展開」の開催。
- 2012年5月16日：モンゴル科学アカデミー地理研究所と部局間交流協定を締結。
- 2012年10月4日：モンゴル国立大学と大学間交流協定を締結。